

核医学技術学実習

Practice in Technology of Nuclear Medicine

1 単位 (必修) 3 年

前澤 博・教授 / 保健学科 放射線技術科学専攻 医用放射線科学講座
富永 正英・助教 / 保健学科 放射線技術科学専攻 診療放射線技術学講座

【授業目的】放射性同位元素安全取扱法およびイン・ビトロ (in vitro) 核医学検査技術について実習を通じて理解する。

【授業概要】放射性同位元素の安全取扱い法および定量的測定法，微量ピペティングの操作法，放射性ヨウ素による標識法，測定データ処理法およびラジオイムノアッセイによるインビトロ検査法等の実習を行う。

【キーワード】イン・ビトロ核医学検査，放射性ヨウ素標識化合物純度，ラジオイムノアッセイ

【履修上の注意】実習書をあらかじめ熟読し，実習内容を理解しておくこと。

【到達目標】

1. 微量ピペティングの手技に習熟する
2. 放射線計数値の統計的取扱に習熟する
3. 標識化合物の純度試験を理解し説明できる
4. ラジオイムノアッセイ法の手技を理解し説明できる
5. 放射性同位元素の安全取扱法に習熟する

【授業計画】

1. 放射性物質の安全取扱法および実習内容と注意事項の説明
2. 微量ピペティングの操作法 (レポート提出)
3. 放射線測定値の統計的取扱法 (レポート提出)
4. 薄層クロマトグラフィーによる B・F 分離 / 純度試験 (レポート提出)
5. ラジオイムノアッセイによるホルモン量濃度測定 (レポート提出)
6. シンチレーション計測器の特徴 (レポート提出)
7. 実習のまとめ
8. 試験

【成績評価】レポートの内容により評価する

【教科書】配布実習書

【参考書】核医学検査技術 (インビトロ編) 高坂唯子他著 通商産業研究社

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217911>

【連絡先】

⇒ 前澤 (088-633-9052, hmaezawa@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月曜日18:00-19:00)